

参加費
無料

農業の第三者承継推進フォーラム

担い手の減少と高齢化が進行する中、リタイアする農業者の経営基盤を新規就農者等に引き継ぐ「第三者承継」が注目されています。

「第三者承継って何？」、「どう進めればいいのか分からない」という皆さん！実際に第三者承継に関わった農業者のお話を聞いてみませんか？

日時・場所

令和5年1月26日（木）13:30～16:00（開場13:00）

岩木文化センター あそべーる（弘前市大字賀田1-18-4）

※冬季のため駐車場の使用台数が限られています。可能な方はお車相乗り又は公共交通機関にてお越しいただきますようお願いします。

対象者

- 第三者承継を地域で推進したい農業者・農業委員・農地利用最適化推進委員の方
- 行政機関やJAにおいて、担い手の確保・育成に係る施策の立案・実行にあたる方
- 農業者等からの第三者承継に係る相談に対応される方
（市町村担当者、農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局担当職員、JA担当者、金融機関担当者、税理士、中小企業診断士、一般農業者、農業法人担当者、県担当者など）

内容

基調講演「第三者承継の推進に向けて～地域の関係機関が果たすべき役割と課題～」

牧 秀宣 氏（有限会社ジェイ・ウイングファーム 代表取締役（愛媛県））



1971年に派遣農業研修生としてアメリカ・アイダホ州に2年間研修。愛媛県立農業大学校卒業後、借地による麦畑を始め就農。1993年有限会社ジェイ・ウイングファームを設立し、代表取締役に就任。

「地域から耕作放棄地は出さない」との方針の下、遊休農地等を集積し、米麦二毛作のほか、アワ、ヒエ、キビ等の雑穀の生産、加工・販売までの一貫経営を実施している。

事業承継や第三者承継についても様々な相談へ対応していると共に、自らの後継者は親族以外の第三者とすることとしている。

2003年第32回日本農業賞大賞受賞 第42回農林水産祭内閣総理大臣賞受賞

事例紹介「第三者承継に取り組むことで活力を得た」

保崎 邦雄 氏（夢果実生産組合 代表（山梨県））



山梨県笛吹市の農家に生まれる。父親の代で桃と葡萄を始め、高校を卒業し農業関係の学校に通った後、農家を継ぐ。

2haほどの農地で桃・ぶどうを栽培。娘夫婦は農業を継ぐ気がなく、後を任せられる人を60歳のときから探した。すぐには見つからなかったが、最終的に取引先から「自分たちやりたいです」と志願される。保崎さんが栽培指導を行い、徐々に継承者に農地を任せている。継承者は、地域内の他農家からの依頼も受け、栽培面積を広げている。

保崎さん自身は、後を任せられる人ができたことから、活力を得ている。

研修内容

第三者承継の支援者・実践者による基調講演、事例紹介のほか、県内での普及拡大に向けたパネルディスカッションを通じて、理解を深めます。

	内容	登壇者
13:30	開会・主催者挨拶	
13:35 - 14:35	基調講演 演題「第三者承継の推進に向けて～地域の関係機関が果たすべき役割と課題～」	牧 秀宣氏 (有限会社ジェイ・ウイングファーム代表取締役)
14:45 - 15:15	第三者承継の事例紹介 演題「第三者承継に取り組むことで活力が増した」	保崎 邦雄氏 (夢果実生産組合 代表)
15:20 - 16:00	パネルディスカッション 演題「第三者承継の推進に向けて、地域が取り組むべきこと」	コーディネーター ○高田 裕司氏 (J-PAO上席コンサルタント) パネラー ○牧 秀宣氏 ○保崎 邦雄氏 ○山田 俊氏

パネラー 山田 俊氏 (芽実【めぐみ】農園 園主 青森県 鶴田町)



岐阜県可児市出身。大学卒業後、10年間セールスプロモーション会社に勤務し、平成30年に退社。大都市圏での生活を経験しながら、変化の激しい仕事に身を置く中、自身の将来に不安を感じる。

手に職を就けたいとの思いから「農業」への関心を高め、農業で生活ができる移住先を検討した結果、妻の母親が青森県出身という縁もあり、埼玉県から夫婦で鶴田町に移住。平成30年7月1日より、夫婦で鶴田町地域おこし協力隊に着任(令和3年6月で3年の任期を満了)。その後園地を縮小したい農家から購入したぶどう園を経営。地域の方々から応援していただきながら就農

申込方法

申込期限：令和5年1月17日(火)

必要事項をご記入の上、下記フォーラム事務局までFAX等でお申し込みください。
なお、電子メールの場合は、この申込用紙の必要事項が分かるようにご記入ください。

申込先：青森県農林水産部構造政策課担い手育成G 宛て

FAX 017-734-8136

E-mail ninaiteikusei@pref.aomori.lg.jp

お申込用紙	
所属	
氏名	
連絡先 (電話番号等)	

感染症の状況により、急遽日程を変更する場合がありますので、連絡先に電話番号等を必ず記入ください

■お問い合わせ先

運営主体：NPO法人日本プロ農業総合支援機構 (TEL：03-6684-1015/担当：高田)

事務局：青森県農林水産部構造政策課担い手育成グループ (TEL：017-734-9463/担当：力石)